

# 未来の子どもたちに

## 本の文化を残そう

### 答弁Ⅱ読書通帳の導入に向け検討する



久武 啓士 議員

町立図書館の利用促進については。

私と町立図書館の出合いは小学校4年生か5年生であったように思い出される。空気がキラキラして読んで読みあさり、後の人生にも大きく影響している。

現在、紙媒体からデジタルへの移行が急速に進んでいる。将来的には本を知らない世代が出てくることを現実には危惧する。本の文化を残していく責任があると思う。読書通帳の導入により利用者が倍増した事例がある。

どもたちへの投資であり、町民の財産となると思うが導入を検討してはどうか。

通帳などの消耗品については、商工会・商業振興会・地元企業の協力を仰げばどうか。また、貯まった金額に応じてポイントに変換して使用できるようにすることにより、商店街の活性化にもなるのではないか。

#### 山崎教育次長

平成29年度作成の第2次の町振興基本計画に基づき図書館の利用促進に取り組んでいる（利用状況は表1のとおり）。

乳幼児期からの読書習慣の形成に取り組み子どもたちの豊かな心の育成に取り組んでいる。

平成29年度子ども読書活動優秀実践図書館として、文部科学省大臣表彰を受賞した。潜在的利用者も含め利用者増に努めている。

る。

町民の利用登録率は49%（県平均23.9%）。

町独自の読書通帳の様式を作成しているが、町ではあまり浸透していない現状がある。導入に向けては、数々のハードルがあるが先進事例に学び、検討を重ねていく。

表1 図書館利用状況

総利用者数	22,256人
(年代別利用者数)	
幼児・未就学児	3,005人
中学・高校生	473人
19歳から59歳	8,346人
60歳以上	10,432人

### イベント用 仮設建物について

#### 久武議員

にこにこ館に設置予定のイベント用仮設建物について

て無用の長物にならないか。

庁舎ホールで楽屋としての使用、にこにこ館でのイベント用として、一石二鳥の発想は大変素晴らしいと思う。

アイデア自体は良いのだが設置・解体に費用が発生し、費用は利用者に負担してもらおうとの管財契約課長よりの説明があったが、現実的でない。月に一度開催するとなると、最大16万円の12か月で多額の予算が必要となる。常設にするのも一つの策ではないか。

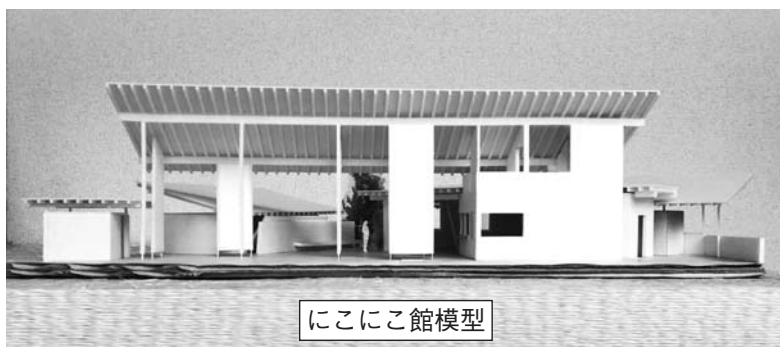
また、もう少し簡易に組み立て可能な施設にして参加者が利用しやすいものとするべきではないか。

#### 池田町長

にこにこ館・トイレ改修工事に併せて作成する多目的木造建物は、仁淀川で行われる数々のイベントに併せて使用することにより、観光案内所としての機能も持たせており、交流人口の増加や産官学が一体として使用できる有効な施設と考

えている。

設置費用は原則利用者の負担と考えているので、もう少し簡易なもの、参加者が組み立て可能な施設にできないか、常設も含め関係者と協議していく。



にこにこ館模型